取扱説明書

IH クッカー（2 口）

KM 418

事故や製品の破損を防ぐために、本機の設置時や、初めて使用される前に、この取扱説明を**必ず**お読みください。

M.-Nr.06 720 780

目次

IH クッカー本体

調理ゾーン

① 奥側調理ゾーン（φ 16 / 19.5 / 23 cm、通常火力レベルまたは 1.9 kw / 2.5 kw のブースターレベル）

② 手前側調理ゾーン（φ 10 / 13 / 16 cm、通常火力レベルまたは 1.2 kw / 0.6 kw 奥側ブースター作動時）

操作パネル

③ 本体の電源 ON/OFF スイッチ

④ チャイルドロックのセンサースイッチ

⑤ チャイルドロック表示ランプ

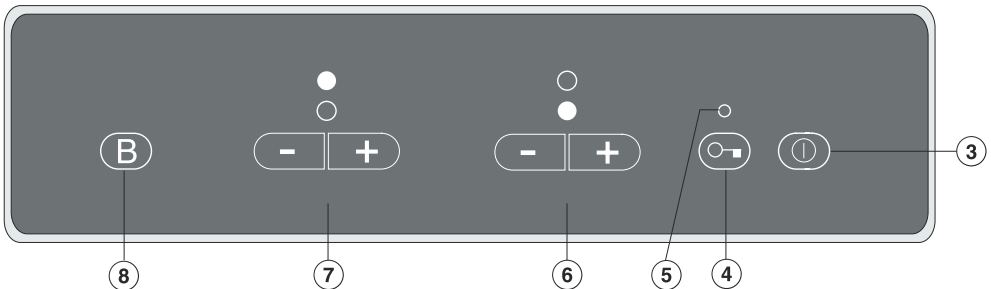
⑥ 手前側調理ゾーン操作部

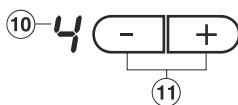
⑦ 奥側調理ゾーン操作部

⑧ 奥側調理ゾーン用ブースタースイッチ

⑨ 電源コード

⑩ 電源プラグ
（本機には日本仕様プラグが付きます。）

【操作パネル拡大図】

各部の名称

調理ゾーンの操作と表示

⑩表示部。次の内容が表示されます。

0	＝	調理ゾーン使用可能
1 ～ 9	＝	火力調節
H	＝	余熱表示
A	＝	自動加熱作動中 （継続調理レベルの火力設定と交互に点滅表示）
u	＝	調理ゾーンになべがない。またはなべが不適切。 （「使用に適したなべ」の項を参照）
F	＝	エラーメッセージ（「こんなとき、どうしたらいい?」を参照）
P	＝	ブースター作動中（奥側調理ゾーンのみ）

⑪火力調整用センサー

⚠ 警　告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注　意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するため色々な絵表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

- 一般的に重要な注意事項
- 潜在的な危険・警告・注意
- 感電注意
- 機器に損害を与える可能性のある場合
- 発火注意
- 高温注意
- 禁止行為
- 分解禁止
- 電源プラグに関する注意
- 水場、湿気の多い場所での使用禁止

⚠ 警　告

本製品は、関連するすべての法律上の安全要件を満たしています。ただし、本製品を不適切に使用した場合、人体への危害および物的損害をもたらすことがあります。

事故や製品の破損を防ぐために、本機を初めてお使いになる前に、必ず取扱説明書をよくお読みください。本書には、本機を正しく安全にお使いいただくための注意事項と、実際のご使用やお手入れに関する重要な情報が記載されています。

本書は大切に保管し、本機を譲渡する場合は必ず本書を添付してください。

取り付けと接続

本機を設置する前に、損傷がないかチェックしてください。損傷の見られるIHクッカーは設置、使用しないでください。誤った設置や接続による損傷については製造者責任を負いません。

必ずアースを取り付けてください。故障や漏電の時に感電する恐れがあります。（電気工事士の有資格者が第3種接地工事をするよう法令で定められています。）

電気工事はすべて電気工事設備基準に準じて行ってください。

安全上のご注意

⚠ 警　告

本機は現行の安全基準に準じて製造されています。修理技術者以外の方による修理、改造、分解は行わないでください。これによるいかなる損害も製造業者は責任を負いません。修理が必要な場合は販売店またはミーレ指定サービス店にご連絡ください。

浴室や風雨にさらされる場所など湿気の多い場所には設置しないでください。（感電・火災・故障・変型の恐れがあります。）

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、また濡れた手で抜き差ししないでください。（感電やけがをすることがあります。）

お手入れの際などに、本体各部に水をかけないでください。

本製品を、延長コードで電源と接続しないでください。 延長コードを使用した場合、本製品の安全性は保証されません。 過熱、発火、感電などの恐れがあります。

本機はビルトイン専用です。キッチンへの据付、結線は専門技術者以外は絶対に行わないでください。
火災や感電、ケガの恐れがあります。

本機はビルトイン式の食器洗い機、食器乾燥機、冷蔵庫、冷凍庫、冷凍冷蔵庫などの上に設置することはできません。
本機から放出される高温によって、下の機器および本機の換気システムに損傷を与える場合があります。

⚠ 警　告

本機は、船舶での使用、およびトレーラーハウスや航空機などの移動性の環境での使用を考慮して設計されたものではありません。ただし、適切な資格を持つ専門技師による危険性評価で問題なしと判断された場合は、このような環境で使用しても差し支えない場合があります。

正しくお使いいただくために

初めて使用する前には必ずこの説明書をお読みいただき、事故の危険性をさけ、本体を傷つけないようにしてください。この説明書には、安全、操作および本機のお手入れに関する重要なご注意が記載されています。

安全のために本機は必ず据付後に操作してください。これは、すべての電気構成部品を保護するために必要です。

本機は家庭用です。業務用としての使用はできません。

本機は、調理にのみ使用してください。その他のすべての用途は危険をもたらす可能性があり、所有者の責任になります。本機の誤った使い方による損傷については、製造者責任は負いません。

使用中は十分な換気をしてください。

本機は、屋外に設置したり、屋外で使用したりしないでください。

警　告

お子様に対するご注意

本製品は、大人だけがこの取扱説明書を読んだ上で操作することを前提としています。

本製品は玩具ではありません。ケガや事故を起こさないように、お子様が本機に近づかないようにし、IH クッカーやそのスイッチ類をさわらないようにしてください。小さなお子様は、機械の危険性を理解していません。キッチンで作業をする場合は、お子様から目を絶対に離さないでください。

大きいお子様の場合は、操作方法を明確に説明し、誤った使用の危険を認識して、安全に使用できる場合に限り、本機を使用できます。

お年寄りや介護を要する方が使用する場合は、他の方が十分に注意してください。

お子様がIHクッカーを操作したり、設定を変えたりしないように、安全ロックを使用してください。

IHクッカーは、使用中高温になり、電源を切った後もしばらく熱くなっています。やけどなどを防止するため、IHクッカーの温度が十分下がるまで、お子様を近づけないようにしてください。

警　告

セラミックプレートの上側や隣りの収納棚にはお子様の興味をひくようなものを置かないでください。上がろうとして、やけどする恐れがあります。

なべなどはお子様の手が届かないようにしてください。取っ手は手前に向けないで、内側にしてください。やけどする恐れがあります。

密閉フィルム、ポリスチレンなどの梱包材やビニールシートは、赤ちゃんや小さなお子様の手の届かないようにしてください。窒息する恐れがあります。梱包材は、できるだけ早急に廃棄するか、リサイクルしてください。

使用済みの器具は電源から外し、プラグは切り離して使えないようにしてください。さらに、後壁の根元で電源コードを切断し、廃棄するまでの保管中、お子様への危険がないようにご注意ください。
この作業は必ず有資格者が行ってください。

安全上のご注意

⚠ 警　告

本体を傷めないために

上からものを落とさないでください。
塩入れなどの軽いものでも状況により損傷することがあります。

底に鋭い角や凹凸のあるケトルやなべなどは使用しないでください。セラミックプレートの表面がこすれて傷が付くことがあります。塩や砂粒でも傷つくことがあります。

熱くなったセラミックプレートに、固体または液体の砂糖、プラスチック片やアルミ箔を置かないでください。万一置いてしまった場合は、電源を切り、やけどに注意しながら、プレートが熱いうちに残っている砂糖やプラスチック、アルミを傷のつかないスクレーパで丹念にこすり落としてください。これらが溶けてそのまま冷えると、セラミックプレートに穴が空いたり、ひびが入ることもあります。本体が冷めたら、クリーニングしてください。こぼしたものなどが燃えるのを防ぐために、汚れはできるだけ早く取り除き、なべの底はきれいに乾いた状態で油などが残っていないようにしてください。

本機の清掃にスチームクリーナーを使用しないでください。蒸気が電気部品に入り、ショートの原因になる恐れがあります。高圧蒸気で表面や部品を損傷することがあります。このような損傷は、保証対象外となります。

⚠ 警　告

熱くなった鍋を操作部の近くに置かないでください。電子部品が損傷する恐れがあります。

IH クッカーの真下に引き出しが付いている場合は、IHクッカーの換気が十分に行われるように、引き出しや中身とIHクッカーの下部の間に十分な空間があることを確認してください。

ゴキブリやその他の害虫が発生しやすい地域のある国では、本機とその周辺を清潔な状態に保つように特に注意が必要です。ゴキブリやその他の害虫による損傷は、本機の保証対象外となります。

⚠ 警　告

やけどや火災をおこさないために

IHクッカーの表面は、使用中高温になり、スイッチを切った後もしばらく高温状態が続きます。余熱表示ランプが消えるまで触らないでください。やけどする恐れがあります。

やけどしないよう、本機の使用時は、耐熱性のなべつかみやミトンを使用してください。ただし、なべつかみやミトンを濡らさないように注意してください。濡れていると熱が早く伝わり、やけどする恐れがあります。

内圧が高まり、破裂することがあるため、缶詰などを密閉したままで加熱しないでください。
負傷したりやけどしたりすることがあります。

本機を物の置き場所に使用しないでください。余熱が残っていたり、意図せずに電源が入ったりすると、上に置かれたものが溶けたり、発火する恐れがあります。

金属製のフォーク、ナイフ、スプーン及びフタ等をセラミックプレート上に載せないでください。熱伝導で熱くなり、やけどの恐れがあります。

⚠ 警　告

本機を布やアルミ箔などで覆わないでください。意図せずに電源が入ったりすると、発火する恐れがあります。

油を使って調理する場合は、過熱によって発火する恐れがありますので、絶対にそばを離れないでください。熱くなった油に火がついたり、IH クッカー上のレンジフードに引火する恐れがあります。
油は状態を見ながらゆっくりと加熱してください。

万が一、油や脂肪分が引火した場合には、水で消火しないでください。防火用毛布や、なべのフタ、濡れタオルなどで覆って消火してください。

レンジフードの下では、フランベ（酒をかけて火をつける調理法）をしないでください。IH クッカー上のレンジフードに引火する場合があります。

安全上のご注意

⚠ 警　告

故障のとき

セラミックプレートが割れたり、傷やひびが入ったりした場合には、ただちにスイッチを切り、電源を外してください。点検修理を依頼して、損傷したセラミックプレートを交換するまでは、再び電源を入れて使用することのないようにしてください。感電する恐れがあります。本体が完全に設置されていない場合は、電源コードはコンセントから抜いたままにしておいてください。電源プラグとソケットで接続されている場合は、ソケットの電源を切って、電源プラグを抜いてください。ケーブルではなく、電源プラグの部分を持って、引っ張ってください。「ご相談窓口」までお問い合わせください。煮こぼれしたものがひび割れから電気部品に浸透することがありますからそのまま使用することは危険です。

⚠ 警　告

安全を確保するため、すべての修理は有資格者が行う必要があります。無資格者による修理は大変危険です。
また、IHクッカーが損傷する恐れがあります。当社は、無許可の工事の責任は負いかねます。決して外部ケースを開けないでください。

保証期間中の修理は、ミーレ認定サービスマンによって行われなければなりません。ミーレ認定サービスマン以外による修理は保証対象外となります。

電磁場の影響について

心臓用ペースメーカーをお使いの方へ！IHクッカーの近くは電磁性を帯びるため、ペースメーカーに影響を与える可能性があります。ご不明な点がある場合は、ペースメーカーの製造業者または担当医師にご相談の上ご使用ください。

不必要に電磁場にさらされるのを防ぐため、調理ゾーンの中央になべを置くようにしてください。

クレジットカードやフロッピーディスク、小型計算機など磁界の影響を受けやすいものの損傷を防ぐため、これらのものをIHクッカーの近くに置かないでください。

⚠ 警　告

その他の安全に関する注意事項

本機近くのコンセントを使用するときは、熱くなった本体に電気コードが触れないように注意してください。コードの絶縁物が損傷し、感電する恐れがあります。

調理したり温め直したりする場合は、食品を十分に加熱してください。
全体的な調理時間は、食品の大きさ、量、温度など、多くの要因に影響されます。
食品の中には、高温で十分に加熱しなければ死滅しない細菌が含まれているものもあります。そのため、鶏肉などの食品を調理したり温め直したりする場合は、食品に完全に熱を通すことが非常に重要です。疑わしい場合は、調理または加熱時間を長くするか、食品を廃棄してください。

プラスチックやアルミ箔の容器を使用しないでください。高温で溶けてセラミック表面を損傷することがあります。発火する恐れがあります。

⚠ 警　告

IH クッカーの下に引き出しを取り付ける場合は、必ずその間に底板を入れてください。また、引き出しの中にはエアーゾルや可燃性の液体、または簡単に燃えやすいものはしまわないでください。包丁入れなどを引き出しに入れる場合は、耐熱の部材でできたものをご使用ください。

ペットなどが本機に乗ると、スイッチに触れて、調理ゾーンのスイッチが入ることがあります。ペットは絶対に本機に近づけないようにしてください。

通電中はお子様を近づけないでください。

「安全上のご注意」を守らなかったことによって発生した損傷や故障は、保証対象外となります。

環境への配慮

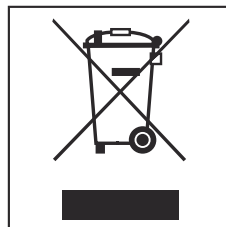
梱包材の廃棄処分

輸送時の保護用の詰物は、廃棄する際に環境への影響が少ない材質が使用されており、リサイクルすることができます。

密閉フィルムやポリスチレンなどの梱包材やビニールシートは、赤ちゃんや小さなお子様の手の届かないようにしてください。窒息する恐れがあります。

梱包材は、できるだけ早急に廃棄するか、リサイクルしてください。

使用済み器具の廃棄処分

電気および電子機器の中には、取り扱いや廃棄方法を誤ると、人体や環境に悪影響を及ぼす恐れのある物質が含まれていることがあります。ただし、このような物質は機器が正常に機能するために不可欠な物質です。
したがって、不要になった機器は家庭ゴミとしては出さないでください。

不要になった電化製品や電子機器は、お住まいの自治体の指定する廃棄物処理施設に廃棄を依頼してください。処分するまでの間、ご自宅で保管するときは、お子様に危険が及ばないように正しく管理してください。

使用済みの器具を処分する前には、スイッチを切り、電源から外してください。プラグは切り離して、使えないようにしてください。さらに電源コードの本体側の根元を切断して、誤って使用することができないようにしてください。この作業は必ず有資格者が行ってください。これらの安全上の注意に従わなかった場合の損害については、当社では責任を負いません。

一般的な注意事項

本機を初めて電源に接続したときや、停電の後は、奥側調理ゾーンの表示部にダッシュ(–)が、手前側調理ゾーンの表示部に1が数秒間表示されます。この表示が消えた時点で本機を使用できます。

本機は誘導加熱原理を利用して加熱します。すなわち、加熱を行うには、底に磁性体が施されているなべで調理ゾーンを覆う必要があります(「使用に適したなべ」の項を参照)。

本機の電源を入れると、ブーンという音やカチカチという音がかすかに聞こえる場合があります。これは誘導加熱では正常な現象です。

「修理についてのご相談窓口」の項を参照し、付属の銘板シールを指定の場所に貼付してください。

初めてお使いのときのクリーニングと加熱

本機を初めてご使用になる前に、湿った布だけで拭き、柔らかい布でふき取ってください。

セラミック表面には落ちにくくなる青い光沢が残るので、食器洗い用の洗剤は使わないでください。金属部品には保護被膜があり、最初に加熱したときに多少臭う場合があります。しばらくすると臭いや蒸気などは発散して、接続不良などはなくなります。

金属部品には保護被膜が施されているため、最初に加熱したときに多少臭う場合があります。しばらくすると臭いや煙はなくなります。
この臭いは、本機の接続障害などを示すものではありません。

誘導加熱原理

各調理ゾーンの下には誘導コイルがあります。調理ゾーンの電源を入れると、このコイルによって磁界が発生します。この磁界によって、上に置かれたなべの底（磁性体でなければなりません）に電流が発生します（誘導します）。この電流によって、なべの底が加熱されます。調理ゾーン自体は、なべから伝わる熱によって間接的に熱くなります。

誘導加熱調理では、次の点に注意する必要があります。

– 誘導加熱調理ゾーンを加熱するには、底に磁性体が施されたなべで調理ゾーンを覆う必要があります（「使用に適したなべ」を参照）。使用に適さないなべでは加熱されません。

– 誘導加熱調理ゾーンでは、なべの底の直径に合わせて火力の出力が調整されます。

  直径が小さければ出力も小さくなります。
  直径が大きければ出力も大きくなります。

  ただし、直径が小さすぎると誘導が起こりません（「使用に適したなべ」を参照）。

使用後は必ず本体のON/OFFスイッチで電源を切り、不適切ななべの種類や大きさで誘導されなかった場合の表示 U（ - ＋ ）のまま終了させないでください。

– なべが乗っていないときや、なべが不適切だったり小さすぎたりすると、誘導は起こりません。このような場合は、調理ゾーン表示部の選択した火力設定が消え、U 記号が表示されます。

U の点灯中に、適切な素材の大きさのなべを調理ゾーンに置くと、以前に選択した設定で加熱が再開されます。
それ以外の場合は、10 分後に調理ゾーンのスイッチが自動的に切れ、0 が表示されます。

誘導加熱プロセスは磁性体の金属に反応するため、本機の上に物を載せないでください。

ノイズ

IH クッカーの使用中、なべの材質や作りによって、次のような音がする場合があります。

- 火力レベルが高い場合、ブーンという音がする場合があります。火力を下げると、音も消えるか、小さくなります。
- なべの底が異なる材質の層でできている場合(サンドイッチ構造)、パシッという音がする場合があります。
- 両方の調理ゾーンで、異なる材質の多層構造のなべを最大火力で同時に使用すると、ヒューッという笛のような音がする場合があります。
- 火力レベルが低い場合、電源スイッチからカチッという音が聞こえる場合があります。
- 本機には、電子部品の耐用年数を延ばすため、ファンが備わっています。IH クッカーを連続して使用している場合など、ファンのスイッチが入り、ウィーンという音が聞こえます。
- IH クッカーのスイッチが切れた後も、冷却ファンは運転を続けます。

使い方

なべ

使用に適したなべ

誘導加熱調理ゾーンは、磁性体の底を持つなべで覆われた場合のみ加熱します。

次のなべが使用に適しています。

– 底が磁性体でできているステンレス製のなべ

– ほうろう加工のスチール製のなべ

– 鋳鉄製のなべ

次のなべは使用に適していません。

– 底が磁性体でできていないステンレス製のなべ

– アルミ製または銅製のなべ

– ガラス、陶磁器、陶器でできたポットやなべ

ポットやなべがIHクッカーでの使用に適しているかどうかは、以下の方法で調べることができます。

■ なべに水を入れ、調理ゾーンの上に置きます。

■ 調理ゾーンの電源を入れ、高い火力レベルを選択します。

なべが適していない場合は、数秒後に調理ゾーン表示部の選択した火力設定が消え、u 記号が表示されます。

なべ底の特性により、食品が均一に加熱されるか否かが左右されます。

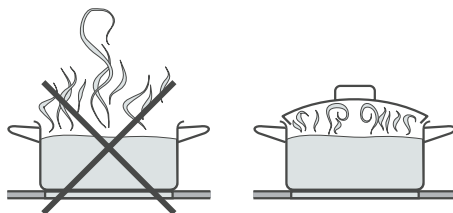
メーカーによって明記されている場合を除き、底の薄いなべを使ったり、なべを空焚きしないでください。なべが損傷する恐れがあります。本機の損傷につながる場合もあります。

なべの大きさ

なべの直径は、使用する調理ゾーンの内側のマークと同じか、それ以上の大きさでなければなりません。なべの直径が小さすぎると、誘導加熱は起こりません。調理ゾーンの表示部に u が表示されます。

メーカーによる最大径の表示は、ポットやなべの縁の直径を示すことが多いため、注意してください。なべの底の直径（通常は縁よりも小さい）の方が重要です。

節電のためのヒント

なべにフタをすると、熱の損失を防ぐことができます。

フタをしない場合

フタをした場合

センサースイッチの機能

本機には電子センサースイッチが搭載されています。スイッチは指で触れると反応します。
調理ゾーンの操作には、該当するスイッチを使用します。センサースイッチに指で触れると、音が鳴り、スイッチの反応を知らせます。

一度に触れることができるセンサースイッチは、1つだけです(調理ゾーンのスイッチを切る場合を除く)。スイッチ部は常に清潔に保ってください。スイッチの上に物を置かないでください。センサーが反応しなかったり、物や汚れにセンサーが反応して機能が作動したり、自動的に電源が切れる場合があります(「切り忘れ防止」の項を参照)。
センサースイッチの上に熱くなったなべを置かないでください。電子部品が損傷する恐れがあります。

本体の電源を入れる

各ゾーンを使えるようにするには、まず本体の電源を入れる必要があります。

本体の電源を入れるには

■ ON/OFF スイッチ ① に触れます。

各調理ゾーンに 0 が表示されます。その後、何も入力しなければ、安全のため、IHクッカーのスイッチが数秒後に自動的に切れます。

調理ゾーンの電源を入れるには

■ 該当する調理ゾーンで[−]または[+]を押し、1〜9 の火力レベルを選択します。

使い方

設定

設定範囲はすべての調理ゾーンに共通です。

調理プロセス	設定
バターやチョコレートなどを溶かす ゼラチンを溶かす ヨーグルトを作る	1～2
卵の黄身とバターが入ったソースにとろみをつける 少量の食品や液体を温める こびりつきやすい食品を保温する 米を炊く	1～3
液体または半固体の食品を温める オランデーズソースなどのソースにとろみをつける ライスプディングを作る オムレツや半熟の目玉焼きを作る 果物を蒸す	2～4
冷凍食品を解凍する 野菜や魚を蒸す 団子、芋、豆などを調理する 豆スープやブイヨンを作る	3～5
大量の食品を長時間煮込む	5～6
肉（脂肪分を熱しすぎない）、魚、野菜、目玉焼きなどを油で炒めた後、ゆっくり煮込む	7
ポテトケーキ、パンケーキなどを焼く	7～8
大量の水を沸かす 沸騰させる	9

これらの設定は、約４人分の目安です。なべが深い、量が多い、フタをしないなどの場合は、高めに設定する必要があります。少量の場合は低めに調節してください。

自動加熱

自動加熱をオンにすると、調理ゾーンは最も強火の調節で自動スイッチが入り、その後、あらかじめ選択しておいた継続調理レベルに切り換わります。加熱時間は、あらかじめ選択しておいた継続調理レベルによって異なります(表を参照)。

通常、高い火力は焼いたり揚げたりする場合に使用するため、最初になべを加熱する時間は比較的短くて済みます。

自動加熱中になべを調理ゾーンからはずすと、自動加熱は中断します。10分以内になべをゾーンに戻すと、加熱が再開します。

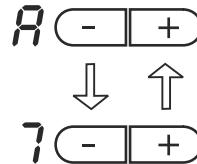
継続調理レベル	加熱時間 (分:秒の概算値)
1	1:15
2	1:40
3	2:10
4	3:00
5	5:05
6	7:40
7	1:40
8	2:10
9	–

自動加熱をオンにするには

■ [–]または[+]を押し、レベル 9 を選択します。

■ [+]センサースイッチをもう一度押します。

[+]を押している間、表示部には A が表示されます。センサースイッチを放すと、火力レベル 9 と A が交互に表示されます。

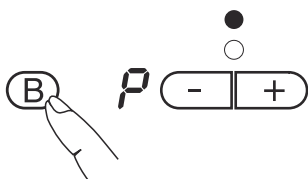
■ A と 9 が交互に表示されている間に[–]スイッチを押すと、継続調理レベルを選択できます。交互の点滅表示が止まったときは、もう一度[+]センサースイッチを押します。

加熱中は、A と継続調理レベル(たとえば 7)が交互に表示されます。
加熱中に[+]センサースイッチを押すと、継続調理レベルを高くすることができます。加熱時間は、選択したレベルに応じて長くなります。

ただし、[–]センサースイッチで継続調理レベルを下げるには、自動加熱機能をオンにした後、最初の数秒間にスイッチを押さなければなりません。この時間が過ぎてから継続調理レベルを下げると、自動加熱機能がオフになります。

ブースター

奥側調理ゾーンにはブースターという火力レベルを上げる機能が備わっています。
ブースターをオンにすると、調理ゾーンは火力レベル 9 よりも強い火力で10分間加熱します。この機能は、パスタをゆでるときなど大量の水を短時間で沸かすためのものです。

手順

■ IH クッカーの電源を入れます。

■ Ⓑ センサーを押します。

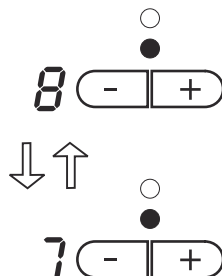
奥側調理ゾーンの表示部に P が表示されます。

10分後、ゾーンは自動的に通常の火力レベル 9 に戻り、P が消えます。

10 分が経過する前にブースターをキャンセルするには、次の手順を行います。

– Ⓑ センサーをもう一度押します。

– 奥側調理ゾーンの[–]センサースイッチを押します。

ブースターの火力をさらに上げるには、手前側調理ゾーンの火力を転用する必要があります。ブースターがオンになっている間は、手前側調理ゾーンで 7 などの高い火力レベルを選択しても、最高でレベル 8 までの加熱しか得られません。ブースターに火力が転用されていることを示すため、ブースターが再びオフになるまで、8 と 7 が交互に点滅します。

ブースター機能は、両方の調理ゾーンに設定された自動加熱機能よりも優先されます。

ブースターがオンになっている間になべを奥側調理ゾーンからはずすと、ブースターが中断します。10分以内になべをゾーンに戻すと、加熱が再開します。

電源の切り方と余熱表示

調理ゾーンのスイッチを切るには

■ スイッチを切る調理ゾーンの[－]と[＋]センサースイッチに**同時に**触れます。

調理ゾーンの表示部に 0 が数秒間点灯します。調理ゾーンがまだ熱い場合は、表示部で余熱表示ランプが点灯します。

本体の電源を切るには

■ ON/OFF スイッチ ① に触れます。

すべての調理ゾーンのスイッチが切れます。調理ゾーンがまだ熱い場合は、該当する表示部で余熱表示ランプが点灯します。

調理ゾーンに触れても安全な温度になると、余熱表示ランプが消えます。

チャイルドロック

お子様の安全のため本体には近づけないようにしてください。本機には、お子様がIHクッカーや調理ゾーンの電源を入れたり、設定を変更したりするのを防ぐため、チャイルドロックも搭載されています。

チャイルドロックのオン／オフは、本体に電源が入っているときのみ設定できます。

チャイルドロックをオンにすると、次のようになります。

– 調理ゾーンの火力設定が変更できなくなります。

– 調理ゾーンとIHクッカー本体は、ON/OFFセンサースイッチ ① を押さなければ電源が入らなくなります。

– 本体に再び電源を入れても、調理ゾーンは作動しなくなります。

チャイルドロックをオンにするには

■ チャイルドロックのセンサースイッチ ⊶ に触れ、スイッチの上にある表示ランプが点灯するまで押し続けます。

チャイルドロックをオフにするには

■ チャイルドロックのセンサースイッチ ⊶ に触れ、スイッチの上にある表示ランプが消えるまで押し続けます。

切り忘れ防止

超過調理時間での切り忘れ防止

本機には、IHクッカーを切り忘れた場合に備えて、安全スイッチが搭載されています。

一方の調理ゾーンで、通常の加熱時間（下表参照）を超過した後も火力調節が変更されない場合は、本体の電源が自動的に切られ、該当する余熱表示ランプが点灯します。

火力調節	最大運転時間（単位は時間）
1	10
2	5
3	5
4	4
5	3
6	2
7	2
8	2
9	1

■ 再び調理ゾーンを使用する場合は、通常の方法で電源を入れ直してください。

センサースイッチが覆われた場合の電源切断

指先が触れたり、煮こぼれ、オーブンミトン、ふきんなどによってセンサースイッチが10秒以上覆われると、自動的に本体の電源が切れます。まだ熱い調理ゾーンの表示部では、余熱表示ランプ H が点灯します。

■ 操作部の汚れを取り除くか、障害となっているものを取り除いてください。

■ ON/OFFスイッチ ① で本体の電源を入れ直してください。調理ゾーンは再び通常どおりに使えるようになります。

過熱防止装置

調理ゾーンの誘導コイルは、次の場合に過熱状態になることがあります。

– なべの熱伝導率が悪い。

– 最も強い火力設定で油などが加熱されている。

過熱防止装置は、該当する調理ゾーンで次のように動作します。

– ブースター機能のある奥側調理ゾーンでブースターがオンになっている場合は、ブースターがオフになります。

– 火力レベルが 9 に設定されている場合は、9 が点滅し、8 と交互に表示されます（調理ゾーンの火力レベルが 8 に下がります）。

– 調理ゾーンのスイッチが自動的に切れます。表示部には、0 に続いて余熱表示ランプが表示されます。

調理ゾーンは安全なレベルまで冷めればすぐに再び使用できます。

過熱防止装置によって再び中断されないようにするには、次の点に注意してください。
– 適切に熱を伝導するポットやなべを使用してください。
– 油は中レベルの火力でのみ加熱してください。

冷却装置が過熱した場合

IH クッカーの換気が不十分な場合、調理ゾーンの冷却装置が過熱状態になる場合があります。

過熱防止装置は、IH クッカー全体に対して次のような処置を行います。

– ブースターがオンになっている場合は、オフになります。

– 火力レベルが 9 に設定されている場合は、9 が点滅し、8 と交互に表示されます（調理ゾーンの火力レベルが 8 に下がります）。

– すべての調理ゾーンのスイッチが自動的に切れ、表示部で 0 が点滅します。

冷却装置が十分に冷えるとすぐに、調理ゾーンは前に選択されていた火力レベルで自動的に加熱を再開します。

■ 過熱防止装置が繰り返し作動する場合は、「ご相談窓口」にご連絡ください。

掃除とお手入れ

本機を掃除する時は、スチームクリーナーを使用しないでください。蒸気が電気部品に入り、ショートの原因になる恐れがあります。高圧蒸気で表面や部品を損傷することがあります。このような損傷は、保証対象外となり、製造者責任は負いかねます。

セラミック表面と周辺フレームとの間や、フレームと天板との間のシールを破損するような先の尖ったものは使用しないでください。

砂粒、酸化ナトリウム、アルカリ、酸、塩素系漂白剤を含む洗剤、オーブン用洗剤、食器洗浄機用洗剤、スチールウール、研磨剤入り洗剤、かたいブラシ、研磨パッドや布などは、絶対に使わないでください。
また、研磨剤入り洗剤を使ったスポンジを使用すると、表面が傷つく場合があるため、使用しないでください。

食器用洗剤でセラミック表面を洗浄すると、落ちにくい青い光沢が残る場合があるため、食器用洗剤は使わないでください。

セラミックプレート表面は定期的に、できれば使用するたびにクリーニングしてください。
本体が冷めてからクリーニングしてください。

こぼしたものなどが燃えるのを防ぐために、汚れはできるだけ早く取り除き、なべの底はきれいに乾いた状態で油などが残っていないようにしてください。

たいていの汚れは、湿った布でふき取ることができます。しつこい汚れは、傷のつかないスクレーパでこすり落としてください。

クリーニング後は、ミネラル分の蓄積を防ぐため、柔らかい布で水気を完全にふき取ってください。

水のふきこぼれなどによるセラミック表面のミネラル分の凝固や、なべの底の金属のしみを落とすには、セラミック面専用のクリーナーをお使いください。クリーナーのパッケージの説明書をよく読み、柔らかい布やキッチンペーパーにクリーナーをつけてご使用ください。

最後に、湿らせた布でセラミック表面をふき取り、柔らかい清潔な布でふいて乾かします。クリーナーの跡を確実に落してください。クリーナーの跡が残っていると、加熱した場合に本体の表面が損傷することがあります。

表面への水のしみや汚れのこびりつきを防止する保護剤が含まれている洗剤もあります。

使用中の熱い調理ゾーンに**砂糖**がこぼれたり、**プラスチック**や**アルミ箔**が落ちた場合は、まず、調理ゾーンのスイッチを切ってください。その後、調理ゾーンがまだ熱いうちに、残っている砂糖やプラスチック、アルミを傷のつかないスクレーパで丹念にこすり落としてください。
やけどしないように注意してください。
IHクッカーが十分に冷めてから、適切なセラミック専用のクリーナーでクリーニングしてください。

こんなとき、どうしたらいい?

電気器具の修理は、有資格者が、地方自治体および国の定める安全基準に従って行う必要があります。無資格者による修理は危険です。当社は、無許可の工事の責任は負いかねます。

ただし、簡単な問題の中には、次の方法で処理できるものもあります。

こんなとき、どうしたらいい?

... 本体や調理ゾーンの電源が入らない。

以下のことを確認してください。

- 使用に適したなべを使っていますか?
- チャイルドロックがオンになっていませんか?
  必要に応じてオフにしてください。
  (P.22「チャイルドロック」の項を参照)
- ブレーカ(ヒューズ)が落ちていませんか?

上記のいずれにも該当しない場合は、本機の電源を約1分間、遮断します。本機を電源から完全に絶縁するには、次を行います。

- 断路器で電源を切ります。
- コンセントから電源プラグを抜いて電源を切ります。
- ブレーカ(ヒューズ)を切ります。

再び電源プラグを差込み、本体の電源を入れます。それでも加熱しないようであれば、電気の有資格者か、またはミーレの「ご相談窓口」にお問い合わせください。

... 調理ゾーンの表示部に U が表示されている。

以下のことを確認してください。

- なべが乗っていないのに、誤ってゾーンのスイッチが入っていませんか?
- 誘導加熱ゾーンでの使用に適した、十分な大きさのなべを使用していますか?
  (P.16「使用に適したなべ」の項を参照)。

... 調理ゾーンの表示部に F が表示されている。

調理ゾーンの温度センサーが壊れています。

修理が完了するまで、この調理ゾーンは使用しないでください。

お近くの「ご相談窓口」にご連絡ください(所在地は裏表紙をご覧ください)。

... 調理ゾーンまたは IH クッカー全体のスイッチが自動的に切れる。

切り忘れ防止機能または過熱防止装置が作動しています(P.23「切り忘れ防止」および P.24「過熱防止装置」の項を参照)。

… 次のような障害が起こる。

– ブースター機能が時間よりも早く自動的に切れる。

– 選択した火力レベル 9 が点滅し、8 と交互に表示される。

– すべての調理ゾーンの表示部で 0 が点滅する。

過熱防止装置が作動しています(P.24「過熱防止装置」の項を参照)。

… 自動加熱機能をオンにすると、なべの中身がなかなか加熱されなかったり、全く加熱されない。

次の原因が考えられます。

– なべの熱伝導率が悪い。

– なべの中身が多すぎる。

次回は、継続レベルに強火を選択するか、初めに強火で加熱した後、手動で弱火に火加減するようにしてください。

… IH クッカーのスイッチが切れた後も、冷却ファンが運転を続ける。

これは故障ではありません。ファンは本機が完全に冷めるまで運転を続けます。その後、自動的にスイッチが切れます。

電源接続

電源接続

> **電気系統の作業は、すべて厳正に国および地域の電気設備基準にしたがって適任な有資格者が行わなければなりません。**
>
> **無資格者による設置、修理、その他の工事は危険です。当社は、無許可の工事の責任は負いかねます。**
>
> **設置または修理作業が完了するまで、本機の電源を切ってあることを確認してください。**
>
> **本機は必ず正しく設置してから使用してください。すべての電気部品を確実に遮へいするには正しく設置する必要があります。帯電部は露出させないでください。**
>
> **本製品を、延長コードで電源と接続しないでください。延長コードを使用した場合、本製品の安全性は保証されません。**

電圧、定格消費電力、アンペア数については、銘板に記載してあります。これらの数値が屋内の主電源に一致していることを確認してください。

本機の接続は、必ず電気設備基準に合った断路器を経由して行ってください。
また、開閉スイッチは容易に点検できる位置に設けることが必要です。

＜重要＞

2 極・接地極付 20A 専用コンセントコードにて納品されます。

コンセント形状を確認の上、確実に接続してください。

＜警告＞

本機は、必ず接地してください。

＜重要＞

本機の電気的安全性は、電気設備基準に合った有効な接地系との連続性が完備して初めて約束できます。この基本的な安全基準を電気工事士がテストすることはとても重要なことです。感電などの不十分な接地系の結果に対する製造者責任は負いかねます。

> **直接的あるいは間接的な不正な設置や接続による何れの被害や損害の製造者責任も負いかねます。**

仕様

定格電圧 :	単相 200 V	
定格周波数 :	50/60 Hz	
定格消費電力 :	最大計	3.1 kw
	奥側	1.9 kw (ブースター作動時 2.5 kw)
	手前	1.2 kw (奥側ブースター作動時 0.6 kw)
適用ヒューズ :	16 A	
外形寸法 (mm) :	W288 x H59 x D514	
質 量 :	4.85 kg	

修理についてのご相談窓口

お客様では解決できない問題が生じた場合は、下記までご連絡ください。
− ミーレの販売店

または

− ミーレの「ご相談窓口」（本書の裏面に記載）

「ご相談窓口」にお問い合わせになる場合は、ご使用の器具のモデル名とシリアル番号をお知らせください。モデル名およびシリアル番号は、銘板シールに記載されています。

サービス向上のため、お客様の電話はモニター録音させていただくことがありますのでご了承ください。

銘板シール

本製品に同梱の銘板シールを貼り付ける欄モデル番号が本書表紙の番号と同じであることを確認してください。

愛情点検

長年ご使用のクッカーの点検を！

ご使用の際、
このようなことはありませんか

●スイッチを入れてもときどき運転しない時がある
●運転中に異常な音や振動がする
●本体ケースが変形していたり、異常に熱い
●こげくさい臭いがする
●さわるとビリビリ電気を感じる
●その他の異常や故障がある

▼

●使用を中止してください●

このような場合、事故防止のため、スイッチを切りコンセントから差し込みプラグを抜いて、必ずお求めの販売店に点検・修理をご相談ください。ご自分での修理は危険な場合がありますから、絶対になさらないでください。

ミーレ・ジャパン株式会社

本社： 〒150-0044東京都渋谷区円山町3-6　E・スペースタワー11F

コールセンター： 0120-310-229／03-5784-0039

M.-Nr. 06 720 780 / 01 4605
ja-JP